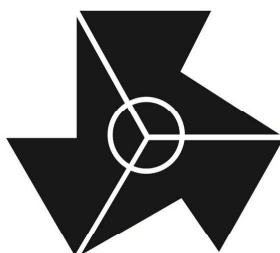


令和3年度

第29回
大阪公立高校対抗テニス大会（石山杯）
兼 近畿公立高等学校対抗テニス大会大阪府予選

第13回
大阪公立高校テニス大会個人戦
兼 近畿公立高等学校テニス大会大阪府予選

団体戦	と き 令和3年10月24日、31日、11月 3日 11月 7日、13日 ところ 各学校テニスコート、蜻蛉池公園
個人戦	と き 令和3年11月14日、21日 11月23日、11月28日 ところ 各学校テニスコート、MTP北村



主催 大阪公立高校対抗テニス大会実行委員会
後援 大阪高等学校体育連盟テニス部

大会役員

大会会長 向井 正明 (交 野)

大会委員長 (大会レフェリー)

鈴木 将二 (長 野)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

浦 尊博 (摂 津)

大内 康弘 (泉 北)

奥田 訓之 (北かわち皐が丘)

直川 雅史 (高槻北)

大会委員 (会場レフェリー)

明石 秀夫 (箕面東)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

遠藤 充建 (河 南)

奥井 保亘 (城東工科)

尾崎 優 (千 里)

加川 眞一 (大手前)

川合 広祐 (桜 塚)

加藤 裕美 (大 冠)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

呉田 未来 (枚方なぎさ)

阪上 哲郎 (槻の木)

重松 一剛 (吹田東)

下岡 絵里 (東淀川)

下向 真治 (豊 中)

鈴木 雄一郎 (日 新)

田井 伸二 (岸和田産業)

徳田 武蔵 (西)

中村 愛美 (伯 太)

仁木 秀雄 (かわち野)

浜本 慎吾 (日 新)

原田 克志 (山 田)

藤井 翼 (枚 方)

守谷 静香 (難波支援)

吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

進行補助員

各高等学校テニス部部員

大会日程（団体戦の部）

令和3年10月24日（日）		各学校（第一会場、第二会場）
10月31日（日）		各学校（原則、第一会場）
11月3日（水）	予備日	各学校
11月7日（日）	本戦QF～F	蜻蛉池公園 9:00開始
11月13日（土）	予備日	蜻蛉池公園 9:00開始

（備考）

- 大阪公立高等学校対抗テニス大会のベスト4は近畿公立高等学校対抗テニス大会の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校対抗テニス大会の日程
令和4年1月5日（水）・6日（木）
MTP北村(大阪)

大会日程（個人戦の部）

令和3年11月14日（日）	予選	各学校
11月21日（日）	予備日	各学校
11月23日（火）	本戦	MTP北村
11月28日（日）	予備日	MTP北村

（備考）

- 大阪公立高校テニス大会個人戦で上位の選手は近畿公立高等学校テニス大会個人の部の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校テニス大会個人の部の日程
令和4年2月5日（土）予選、2月6日（日）本戦
場所 MTP北村

団体戦の部 大会注意事項

1. 試合会場について
 - ・指定された日程・会場に従って、すみやかに試合を進めること。
 - ・各チームは、指定された開始時間の15分前までに、引率顧問と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ、試合ができる状態で出席を届けること。選手及び顧問・教職員は事前に健康チェックシートをダウンロードし、受付時に提出すること。顧問の引率がない場合は失格となる。
2. 試合の順序、方法について
 - ・各学校1チーム、複2・単3の5ポイントの団体戦とする。
 - ・単No.1、複No.1、単No.2、複No.2、単No.3の順に試合を行うが、進行の都合上、試合を並行して行うことがある。会場の係の指示に従うこと。
 - ・学校会場では5ポイントを全部行うことを原則とするが、天候、日没などの理由により勝敗が決まった時点でうち切ることもある。
3. 出場メンバーおよびオーダーについて
 - ・オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し、会場に持ってくること。
 - ・登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
 - ・オーダーについては、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。ただし、単については、登録順位の上位のものを、複についてはペアの登録順位の合計が上位の組を、合計も同じ場合は登録上位の選手を含む組を、オーダーの上位に置かなければならない。

- ・同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- ・オーダー用紙に記入されたメンバー以外の出場は認めない。
- ・本戦のQ F以降は対戦前にオーダー用紙を本部に提出し、オーダーの確認を受けること。予選においては本部に提出する必要はない。
- ・試合前に、コートに整列し、対戦校同士オーダー用紙の交換をし、選手を確認すること。
- ・相手チームのオーダーに疑義がある場合は直ちに確認すること。
- ※オーダーを間違った場合は次のように処理すること。
 - ① 1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。
 - ② 試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。
 (次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出)

4. 試合に際して

- ・試合球はダンロップオーストラリアンオープンを用いる。
- ・試合は1セットマッチ（6ゲームオールタイブレーク）である。
- ・ベンチコーチは顧問、監督のうちオーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。ベンチコーチは審判にクレームをつけてはならない。
- ・会場校は各校に可能な限り対戦前に練習時間を設定すること。
また、試合前のウォームアップは3分を超えてはならない。(レフェリー・会場系の指示が別にある場合はそれに従うこと。)
- ・プレーヤーは、試合中に誰からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。
また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可とする。
- ・この試合は、セットブレイク方式を採用しない。(各セットの第1ゲームのサイドチェンジの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める)
- ・応援は、拍手のみで、発声はしない。
- ・細かな規則については『テニスルールブック』に準ずる。規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は、失格とする。
- ・審判は、セルフジャッジとする。
(会場レフェリーが、オーバールールする事がある。)

5. 服装について

- ・服装は、全国高体連テニス専門部服装規定による。ただし、襟なしシャツについてはゲームウェアに限る(ゲームウェアとは、各メーカーがゲーム用のウェアとして販売しているもの)。Tシャツは禁止。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
(ストリングロゴは、禁止する。)

6. その他

- ・試合は無観客とする。会場内に入れるのは、顧問・学校教職員(各校2名まで)と登録選手とする。
ただし、運営補助員としての若干名の生徒は可とする(応援は不可)。
- ・公営コートでは試合開始後、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することは禁止する。
- ・会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁とする。
- ・各会場では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- ・ゴミなどは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないように、最大限の協力をしなければならない。

7. 記録の報告について

各対抗で勝ったチームは、HPよりダウンロードし各校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、会場校に提出すること。

ベスト8まで勝ち上がった学校は、高体連ホットラインhoukoku@osaka-hs-tennis.com まで連絡してください。

例 件名 公立大会男子結果
本文 ベスト8 大阪庭球高校

大阪庭球高校 宗方 仁



また、会場校は各対抗の勝者校が提出した結果報告書を、

〒565-0802 吹田市青葉台南16-1

大阪府立吹田東高等学校 高体連テニス部 重松 一剛 宛へ送付

※ 府立高校からはメール便でとどきます。

個人戦の部

男子 予選ブロック 48ブロック

女子 予選ブロック 48ブロック

個人戦の部 大会注意事項

1. 試合開始と進行

- ・本戦は午前9時、予選は午前9時15分より試合を開始する。
- ・試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロ番号順に進行する。
(前の試合が終了すれば、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格することがある)
- ・ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出

- ・各会場とも試合開始時間の15分前(本戦 8:45 予選9:00)までに、本人が更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権と見なし失格する。本戦は、顧問あるいは学校教職員と一緒に出席を届け出る。

3. 試合について

- ・使用球はYONEX ツアープラチナムを用いる。
- ・服装は、全国高体連テニス専門部服装規定による。ただし、襟なしシャツについてはゲームウェアに限る(ゲームウェアとは、各メーカーがゲーム用のウェアとして販売しているもの)。Tシャツは禁止。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・コート内でのウォームアップはサービス4本とする。(会場レフェリーの指示に従うこと)
- ・審判はセルフジャッジとする。
- ・プレーは連続的に行われなければならない。MTQは筋ケイレンでは認められない。
- ・試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること。(5分以内に)
- ・不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバーコールする。

- ・一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- ・アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。(ローカルルール)
- ・試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。(ストリングロゴは、禁止です。)

4. その他

- ・試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- ・レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。
- ・JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。

5. 記録の報告について

会場校は雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン(090-7095-1471)に連絡すること。

会場校は、結果を高体連ホットライン [houkoku@osaka-hs-tennis.com](mailto:hokoku@osaka-hs-tennis.com) まで連絡してください。

例 件名 公立個人男子結果
 本文 BS15 .1 越前(青春学園)
 BS16.16 丸尾(大杉高校)
 (ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名)
 会場 大阪西高校 宗方 仁



詳細報告は予選終了後、

〒565-0802 吹田市青葉台南16-1

大阪府立吹田東高等学校 高体連テニス部 重松 一剛 宛

※ 府立高校からはメール便でとどきます。

詳細報告：ドローに勝者とスコアを記入

※以上の報告がない場合、会場のコート提供ポイントは加算されない

大阪公立高校事務局のホットライン

090-7095-1471